

第42回日整親善ゴルフ宮城県大会

平成27年9月13日 松島チサンカントリークラブ 松島・仙台コース



第42回日整親善ゴルフ宮城県大会

2015.9.13 松島チサンカントリークラブ 仙台コース

去る平成27年9月12日～13日の両日、第42回日整親善ゴルフ宮城県大会が日整の工藤鉄男会長はじめ、日整役員、各県会長など総勢1226名の皆様にご参加いただき盛大に開催されました。

今回宮城県での主管、開催は28年ぶりとなり、当時実行委員長を務めた大橋良雄先生や、当時運営に携わった諸先輩方に当時のお話を伺いながら、櫻田 裕会長を筆頭に宮整ゴルフ愛好会の木村 清徳会長と宮城県らしい大会の実施に向け準備を進めて参りました。

今大会は「宮城県としてのおもてなし」を基本的なコンセプトとし、時代に即したスタイルリッシュなゴルフ大会の開催を心がけて運営に当たりました。

前夜祭の夕食会では、日本三景を一望するホテル松島大観荘に於いて、仙台名物の牛タンや新鮮な三陸の海の幸、宮城の地酒をご堪

能いただき、古くから伊達のお祭りとして知られる「雀踊り」を参加の方々と一緒に踊るなど大いに盛り上がり親睦を深め合いました。

翌日のゴルフ大会は、以前女子ツアーのミヤギテレビ杯オープンが開催された名門松島チサンカントリークラブ、仙台コース、松島コースで行われ、清々しい秋晴れの下で存分にプレーを楽しめました。

また、当日はゴルフ界の名門東北福祉大学ゴルフ部の部員にもキヤディを務めてもらい、トップアマとの交流の機会を設け、参加した皆様に喜んで頂きました。

毎年恒例の団体戦は、大阪府が優勝の栄誉に輝き、宮城県は惜しくも8位という結果となりました。

この大会を機に多くの会員の皆様に宮整ゴルフコンペを盛り上げて頂き、全国大会での初優勝をめざして頂きたいと熱望いたします。

末筆ながら、本大会を開催に当たり多大なご協力を賜りましたご協賛各社、宮整ゴルフ愛好会会員、執行部並びに委員の皆様、そして実行委員として大いに活躍頂いた坂井雄大会員、渡邊聰史会員に心から御礼申し上げます。

(大会実行委員長 大坂武史)



宮城流の「おもてなし」で盛況となったホテル松島大観荘での前夜祭の模様

■前夜祭【9月12日】



■表彰式

団体優勝は大阪府チーム



団体優勝の栄冠に輝いた大阪府チーム

開催県の宮城県チームは8位と健闘!



大会実行委員長
大坂 武史 会員

■大会当日風景【9月13日】

秋晴れの空の下、プレー開始!



松島の海風に吹かれながら…

仙台市元気応援教室

(平成26年度第3クール)
平成27年度第1クール

超高齢化社会の到来を前に
このような活動を通して柔道整復師による
地域社会への寄与が求められています

介護予防で地域に貢献
高齢者の日々の暮らしをサポート!



仙台市「元気応援教室」平成26年度第3クール(1月～3月)および平成27年度第1クール(5月～7月)を、宮城県柔道整復師会館3階大会議室を会場にして、それぞれ全12回(毎週土曜日)の行程で開催いたしました。
「元気応援教室」は、仙台市が実施している介護予防事業(仙台市通所介護予防教室)です。要介護、要支援に移行する恐れのある対象者に対して行う介護予防事業の一つです。当会は、平成24年度から仙台市の委託を受けており、今回で9回目の開催となりました。

平成27年度第1クールには参加者のみなならず地域包括支援センター職員の方が来館し、内容の濃いとても充実した介護予防教室となりました。

「元気応援教室」では、運動をする上でのりスクとなる脳血管疾患、循環器疾患、運動器疾患の有無などを個別に把握することが重要になります。体力測定の結果にも個人差があります。各々の身体状況を理解した上で、生活環境や本人の希望を考慮し、運動教室を開催します。そして、参加者の能力向上を図り、本来の姿を取り戻すこと、または維持することを目的として、一人一人の状態に合わせた運動プログラムを実施しました。

教室終了後には体力測定の結果も向上しております、「近所のスーパーまで歩くようになつた」「家族と旅行に出かける自信がついた」等の喜びの声をいただきました。体力測定の結果も向上しており、一定の成果をあげて、「元気応援教室」を無事終了できることを報告します。

仙台市では、平成27年度第2クールからあらためて介護予防の実施事業者を公募、当会も応募した結果、再選されました。第2

クールからは、歯科衛生士会と連携して口腔プロダグラムを行います。

目前に迫ってきた超高齢化社会の地域包括ケアシステムの中で、私たち柔道整復師が介護予防の「地域資源」として役割を担い、活躍するためには、仙台市「元気応援教室」をはじめとした地域での活動実績を重ねることが必要不可欠です。そのノウハウを習得するために、機能訓練指導員として仙台市「元気応援教室」に参加してみませんか?

次回第2クールは、平成27年9月から開始いたします。会員の皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

(介護企画推進室 早坂 健)



参考者の皆様から「元気になったよ!」という感謝の声が続々と寄せられています

「地域包括ケアシステム対応に向けた人材研修会」

第1回 平成27年4月25日(土)
第2回 平成27年6月27日(土)



「地域包括ケアシステム対応に向けた人材研修会」を【第1回】平成27年4月25日(土)、【第2回】平成27年6月27日(土)の日程で、宮整会館3階大会議室を会場に開催しました。

国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年へ向け、今後も増加を続ける医療費・介護給付費などの社会保障費のあり方を考えました。「地域包括ケアシステム」を取り組んでいます。「地域包括ケアシステム」では介護保険サービス・医療保険サービスのみならず、見守りなどの生活支援や成年後見人などの権利擁護、住居の保証、低所得者への支援などが切れ目なく提供されることが必要です。「地域包括ケアシステム」は、「地域住民に対して医療・福祉・住宅などの様々な生活支援サービス(地域資源)が、日常生活の場(生活圈域)で適切に連携・協力して提供できるような地域での包括的体制」と定義されています。その「地域包括ケアシステム」の中で、柔道整復師が有力な「地域資源」として求められるようになることを目標として、人材育成に向けた研修会を企画しました。

研修会の冒頭、櫻田裕会長から「参加した会員や準会員が地域包括ケアシステムや介護の進めかたについて、実際の進めかたについて、宮城県柔道整復師会が行つ

仙台市元気応援教室委託事業
経過報告と必要書類の
作成について

講師 早坂 健 室員

機能訓練指導員養成講座
仙台市元気応援教室
機能訓練指導員講習会

講師 若井 晃 副室長

柔道整復師が地域にて
実践できること
講師 松元 浩一 室長



柔道整復師は、骨・関節・筋肉など運動器
研修中、参加者は熱心に講義に聞き入り、
積極的な意見交換や質疑応答が活発に行わ
れました。

柔道整復師は、骨・関節・筋肉など運動器

保護保険制度を理解し、地域で必要とされる資源になつてもらいたい」と熱い期待が語られました。

地域包括システムに向けた 人材育成と制度の理解について

講師 中川 裕章 室員



に関する治療の専門家です。また、接骨院・整骨院は地域の中学校区域に所在しており、地域の高齢者が通いやすいという大きなメリットがあります。柔道整復師が、機能訓練指導員として介護予防の一翼を担い、「高齢者が住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らす」ために必要な地域の資源となるには、市区町村や地域包括支援センターから認知され、必要な存在と認められることが重要です。

本研修会の目的として、「地域包括ケアシステム」に対応していく人材育成を掲げております。今後、介護予防・日常生活支援総合事業(以下・総合事業)が各市町村単位で展開されることになれば、接骨院・整骨院に業務委託される可能性が期待できるため、本研修会はその人材養成にも役立ちます。

介護企画推進室は、「地域包括ケアシステム」の総合事業における事業提供体制の標準化とそれに伴う中間指標(実績・数値評価)の設定を行なながら、医療・介護における多職種連携事例の足掛かりとして、今後も会員に対する有用性の高い企画の提供に努めています。

(介護企画推進室 副室長 若井 晃



柔道整復師は、骨・関節・筋肉など運動器
研修中、参加者は熱心に講義に聞き入り、
積極的な意見交換や質疑応答が活発に行わ
れました。

柔道整復師は、骨・関節・筋肉など運動器

地域包括ケアシステムプロジェクト 第1回はればれ健康フェスタ

～本人と家族の選択と心構え～

平成27年9月27日(日)

AER(アエル)5階 多目的ホール



平成27年9月27日(日)、地域包括ケアシステムプロジェクト「第1回はればれ健康フェスタ」がアエル5階多目的ホールにて開催されました。

震災復興を目的として始まった「みやぎ復興支援人」協動プロジェクト「はればれ健康教室」や「多職種連携プロジェクト」はばれ健康教室の集大成として、今年度は当会の拠点である仙台市にもりり、「市県民公開講座」として開催しました。

今回、地域包括ケアシステムプロジェクトのサブタイトルとして「本人と家族の選択と心構え」を掲げました。各専門職の特性を知つて生活の場に生かし、在宅生活を継続的に選択できるよう共催・後援・協賛の各団体に協力を依頼し、あらゆる社会資源が連携する形を想定して立案・企画しました。また、運営体制に関しても慎重に見直しを図りました。

開催に先立つて実施された5団体の合同会議では、仙台市介護予防推進室係長・川村様、仙台市薬剤師会副会長・高橋様、宮城県看護協会専務理事・太田様、宮城県栄養士会副会長・千石様と当会の櫻田裕会長・松元浩二副会長・介護企画推進室室員との間で開催内容・運営方法等を協議しました。活発に意見交換が行われ、

- ①各専門職が有機的に連携できるようブースの配置
- ②子供から高齢者まで多くの来場者を想定した会場レイアウト
- ③来場者に多くの情報を得てもらい満足度を上げるため、各団体から提供される検査機器や各ブースに設けたクイズでのスタンプラリー

など、多数の工夫がこなされました。

開催当日は、医療機器業者などの協賛各社にご協力いただき、当会の取り組みをより感じて体験できるよう模擬接骨院を設け、「膝・腰ブース」「肩・首ブース」「身体観察ブース」「介護予防ブース」を配置しました。学生ボランティアとして、仙台接骨医療専門学校、赤門鍼灸柔整専門学校、仙台医療専門学校、赤門鍼灸柔整専門学校、仙台医療専門

市県民公開講座

「薬の正しい飲み方」

仙台市薬剤師会 会長
北村哲治 先生

「いつまでも元気に過ごすための食事」
宮城県栄養士会 副会長
千石祐子 先生



「膝痛・腰痛予防！ 健康いきいき教室」
宮城県柔道整復師会 介護企画推進室 室員
早坂健 先生



「元気・長生きのコツ ココロもからだも生き生き元気に過ごすために
～知りておきたい認知症のこと～」
宮城県看護師協会 認知症看護認定看護師
清川邦子 先生

このプロジェクトは、来場者の数や多職種連携の拡大だけを目的とせず、会員の人材育成の一環としての目的もめざしています。今後も充実したプログラムとなるよう各方面と協力し、市・県民のためになる公益事業となるよう検討してまいります。

(介護企画推進室 中川裕章)



第1回はればれ健康フェスタ 各展示ブースの紹介



宮城県看護協会ブース



仙台市薬剤師会ブース



(株)ミズノ足型診断



宮城県栄養士会ブース



介護予防機器ブース



キッズスペース



学校案内ブース



整・接骨院(頸・肩)ブース



宮城県柔道整復師会ブース



身体観察ブース



整・接骨院(腰・膝)ブース



仙台市介護予防推進室相談コーナー